

凡 例

- 一 本目録は、『国文学研究資料館所蔵史料目録』第八十六集に続いて、第八十七集信濃国松代真田家文書目録（その八）として、同文書の絵図史料の一部を収めた。
- 一 史料は、利用上の便宜を考慮して、内容・性格等に応じ、大・中・小の項目を立てて分類配列した。分類の基準については、後掲の解題を参照されたい。大項目は一二ポイント活字、中項目は一〇ポイント活字、小項目は九ポイント・ゴチック活字で示した。また、必要に応じて、既刊の『史料目録』に掲載した参照資料を、小項目に続いて示した。
- 一 史料1点ごとの記述は、ほぼ①表題・作成等（表題、作成、宛所、内容、関連する参照史料）、②年代（作成年月日）、③数量・形態・状態・備考、④整理番号の順に記載した。
- 一 表題（史料名称）は原表題もしくは柱書を取り、それがない場合には（ ）で仮表題を付与した。原表題や柱書だけで不十分な場合、その後に（ ）で内容を摘記した。（ ）の中には現代かなづかいを用いたが、原表題があるものは旧字のまま記載した。
- 一 作成者または差出人が連名の場合は、筆頭3名を採録し、複数のものの一部などは適宜省略した。作成年次は、年月日・干支から適宜に採用した。
- 一 史料の形態は、多くが絵図面史料のため原則としてそれぞれ大小寸法を示した。寸法は、縦横の最大値を取り、ミリ・メートル単位で記載した。また方位が示されている場合は、南北をㄥ、東西をㄗとし、方位の指示が無い場合は、書付の向きをもってㄥとした。一紙書付類のほか小図面などについては横長美（美濃横長判）、堅紙、折紙、横切紙、横切継紙、堅切紙、堅切継紙など、大きさの大概を示した。また各史料の附属について、袋、包紙、貼紙などを注記した。
- 一 虫損・破損・汚損のため文字の判読が不可能な場合、□で欠損文字を示した。また欠損文字の数分からない場合 [] で示した。
- 一 最下欄の、しの記号および数字は、各史料の整理番号を示す。照合・閲覧・引用の場合に利用されたい。
- 一 し568の史料に関しては、仮整理段階で「F」記号を与えられた容器に収められた仮整理記号「F-39」にあたる。「F」箱の史料に関しては、本目録の次に刊行する史料目録と併せて参照されたい。

総目次

口絵

凡例

総目次

信濃国松代真田家文書目録（その8）本文細目次 1

解題 3

真田家文書の伝来と概要

 文書の伝来

 収録史料の範囲

史料の配列と概要

（付表）松代藩領図

（付表）真田家領分郷村高・真田家預所表

目録本文 13

 村絵図 13

 地並図 26

 検地・地押 29

 地・村・山境 32

 開発・高請・除地 34

 御用地 40

 山林・河川 43

 普請 44

 災害 47

 争論・出入・裁許 48

 寺社 53

 国境・領内・道筋 53

 規式・葬祭・日光社参 56

 藩邸・御役所・家中拝領屋敷 63

掲載図表一覧

図	表
図 1：松代藩領図（部分図） 8	表 1：真田家領分郷村高 9
	表 2：真田家預所表 11

信濃国松代真田家文書目録（その8）本文細目次

藩政	11
村絵図	11
明和度村絵図 文政度村絵図 年欠村絵図	
地並図	24
地並・町並・居宅地番図（地租改正）	
検地・地押	27
地押改・有地改・検地	
地・村・山境	30
村境・境目・山境	
開発・高請・除地	32
新田開発・耕地・高請・引高・引地・開発・除地・荒地・川欠荒所	
御用地	38
給地・御用地・御用地改・御林・御栗林・献上山	
山林・河川	41
割山・鋤山・用水堰・川敷	
普請	42
川除普請・川普請・道橋普請・建物普請・用水堰普請	
災害	45
弘化大地震・嘉永大地震・火災	
争論・出入・裁許	46
裁許・論所・出入・出入内済	
寺社	51
国境・領内・道筋	51
領内・国境・道筋見取図・街道・本陣・巡検・巡検宿泊所・名所	
規式・葬祭・日光社参	54
規式・暦・見物・葬祭・日光社参	
藩邸・御役所・家中拝領屋敷	61
建札・御役所・番所・江戸藩邸・藩邸・御屋敷・屋敷地境改・城修覆	

信濃国松代 真田家文書目録（その八） 解題

真田家文書の伝来と概要

文書の伝来 本目録は、既刊の『真田家文書目録（その一）』（史料館所蔵史料目録 第二十八集）、『同（その二）』（第三十七集）、『同（その三）』（第四十集）、『同（その四）』（第四十三集）、『同（その五）』（第五十一集）、『同（その六）』（第五十九集）、『同（その七）』（八十六集）を発行してきたことを受けて、本集は、『真田家文書目録（その八）』として同文書の絵図面史料の一部を収録したものである（以下、既刊分は『その一』のように略記）。

真田家文書の伝来や概要、関連資料の所在、および目録編成の方針と表題表記の方式などについては、既刊各集に付載した解題で述べているので、本集の利用にあたっては、既刊各集をご参照いただきたい。

真田家文書は三万点を越す史料群であり、本史料目録を含めて八冊の目録を刊行した。しかしながら仮整理済の史料を含めて未整理史料もいまだ多い。昭和二六年当時、真田邸から旧文部省史料館が鉄道貨車一両分に相当する史料を受入れた際、史料群の原秩序の多くが失われることになった。当時は、形態分類による荒仕分けが受入れ初期段階の史料整理方法論として定着していた。そのため当館が史料目録のための整理に着手するころには、史料群が本来活用・集積・保存されていた史料群の保存経過の原型が破壊されていた経緯がある。したがって真田家文書に限っては、目録化は、史料の主題、史料形態に加え本館の書庫で仮整理の過程で使用した保管容器の順序に応じて行ってきた。目録化にあたり、既刊目録には編成対照表を後掲しているが、あくまでも整理対象史料を内容主題項目によって分類したものであって、必ずしも史料群内部構造が再構築されたものではないことをお断りしておく。

松代藩・真田家における組織の様々な活動の軌跡は、文書群の構造の中に本来は残っていたものと考えられ、その史料群構造を重要な手がかりとして組織内・組織間の詳細な関係を明らかにする可能性を持っていたと考えられる。国文学研究資料館アーカイブズ研究系は、内容主題分類による整理方法論から離れ、史料群のもつ固有の組織構造を分析し明らかにすることがアーカイブズ学の重要な実践であると提唱し、それゆえに目録化を調査研究活動の一つと位置づけてきた。よって、このような内容主題項目分類による目録化は、当館の方針とも合致するものではない。しかしながら、多量な史料を可能な限り早く目録化し、一般の利用に供するための措置として、ご了承いただきたいと願っている。なお、真田家文書史料目録の最終刊では、史料群全体を俯瞰するため、既刊の真田家史料目録の編成対照表とともに、史料整理の過程についても詳しく報告する予定である。

収録史料の範囲 真田家文書目録『その一』には簿冊型史料を収録したのに対し、『その二』以降の目録には書付型史料を配した。すでに述べたことと若干重複するが、形態分類によって仕分けをした際に、大部分の大型の絵図・地図などは、本来作成経緯を同じくする書付型史料と分けられた。そのため、本史料目録では、仮整理過程で絵図・地図類として形態的に分類されたものを中心に目録化を行った。既

刊の書付型史料のなかで特に関連性が明らかなものに関しては、参照記号を注記したので参考にされた。またこれから刊行される書付型史料の目録も併せて参照されることを願っている。

なお、既刊の真田家史料目録に絵図類史料が散見されることから、これ以降の目録にも同様の史料が出てくる可能性も否定できない。現に、本集の目録化の過程で、本集には収録しなかった史料の仮整理容器「F」より、規式関連の図面がまとまって出てきている。「F」容器にあった図面と他の書付型史料の相互の関連性は低いことが明らかとなったので、ここでは容器「F」の全編は収録せず、本集では絵図関連のみを収録した。今回割愛した仮整理容器「F」の書付型史料は、次に刊行する予定の目録に収録するので留意されたい。よって、本史料目録は真田家文書に関しては絵図類のみを目録化した唯一の集となるものの、本史料群全体における総合的な絵図目録とはならず、適宜必要に応じてこれから刊行される目録も参照いただくことになろうかと思う。利用には誠に不便をおかけするが、全体を未整理のまま長期に放置しておく不便さを解決するひとつの打開策として、重ねてご了承を乞うものである。

史料の配列と概要

真田家文書の絵図史料は、本集の刊行以前より旧史料館員が近世絵図史料の内容項目編成をもって仮整理カードを作成し、既に利用者の閲覧に供してきた。絵図類史料も他の書付型史料と同じく、作成・差出方・宛先が判明しても最終的な保存部局が判然としない史料が多く、機能的分類による目録化は断念した。よって、本集における史料の配列は、近世絵図史料の考え方や特色に基づいて絵図等の主題分類を用いている。大分類は『その一』の分類項目に準拠し『藩政』としたが、中分類以下は仮整理カードの内容を活用した。

絵図の多くは単独で編成されるものではなく、ある意図のもとに文書と一体となって作成される。添書きが分類を明確にする場合は別として、絵図の外形的情報に共通点が多くても、絵図史料が関連文書と切り離されているがゆえに、合理的な分類に限界があることも多い。よって実際には機能を異にする史料も、外形的情報から同じ分類に一括して目録に表現されていることもあるので注意願いたい。また、版本など仮整理以前に混入した絵図以外の史料も一部含まれており、本集の史料が内容項目と一致しない部分がある。そのため、史料の活用には、各史料の表題及び内容摘記と共に他の目録も参照されたい。仮整理のカード目録では合計558レコードが確認された。実際に目録化のために詳細なデータ抽出を行ったところ綴りなどの枝番号となる史料を加え、全体で1555レコードと増えている。また、本集には、前述した「F」容器の図面史料111レコードをさらに加えた。大型の絵図史料を含め、できるかぎりタテ・ヨコ長さを計測した。継紙の張出し、付け札などがある場合も含め、タテ・ヨコ最大値を計測し、目録上ではミリメートル単位で掲載している。

なお、1辺が200センチを超える大型の絵図史料は、特に閲覧および原本保存のためダイレクト・プリントをすでに作成している。今回の目録化にあたって利便性を考え、200センチ以下の史料も含め、多くの絵図史料の高画質デジタル撮影を行ったので活用していただきたい。

本目録収載史料については、次のような特色を指摘することができる。

「村絵図」 村絵図は、明和二年七月頃および文政八年八月頃に編成されたものがほぼ全体を占める。230余りの村絵図は、各村の土地の景観を描き、一般に明和度に比べて文政度の絵図がより詳細である。

明和度村絵図の添書きは「今度村絵図被 仰付候二付、役人頭立内見分仕其上隣村境筋之儀者双方立合申合七、其上墨引之通相違無御座候、尤荒地其外品々色わけ吟味仕相記し候通、是又少茂相違無御座候、万一龜末之儀仕絵図面指上追而御吟味之上行違御座候ハ、何様之曲事被 仰付候共一言之儀申上間敷候、為後日村役人頭立連印仕指上申候、以上」と大まかに統一されており、文政度の村絵図では「此度、一村分地絵図面相仕立方角村名寺社堂地其外品々名所等取調境筋篤与相糺墨引仕細々書入差出候様被仰渡候二付三役人頭立明細場所吟味仕絵図面相極御書上仕候通相違無御座候、以上」の添書きである。村絵図の凡例として、一般的に黒色一境、黄色一田畑、緑色一山林、赤色一道筋、水色一水とし、図上の端に必ず村役人が連名し、捺印がある。

この村絵図史料は真田家領分の村のほぼ全域を網羅しており、争論・出入以外で村絵図がこれほどまとまった形で伝存する意味は大きいと思われる。ただし、この時期に村絵図を編成した意図などについては、松代藩政の展開との関連も含め、文書史料等による明確な裏付けはない。『その1』の藩政関係の堅帳等を参照し、また今後の史料整理の過程で新たな発見に結びつくことが期待される。

「地並図」 一筆ごとに地番、字名、地目などを表す地並図・町並図のほか、地租改正にとまなう居宅地番図を収録した。居宅地番図は明治四年の水内郡の図面がまとまっている。

「検地絵図」 地押（地詰）検地の際に作成した地押絵図および地押改・有地改絵図を含む。近世後期においては松代藩の総検地はなく、新田畑や高請、高改、起返地をはじめ事情のある村に限って散発的に地押検地が行われた。地境が明瞭でない場合には、村全体の図も含めた地絵図を作成し、他領隣郷村の立合見分の上墨引し境目に印形した。役人に提出した改帳、検地帳などについては、既刊目録を参照されたい。

「境目絵図」 飛地、秣場はじめ地・村・山境を定め、隣村々役人立合の上印形した。外形的な絵図の形式に共通点が多く見られるものをこの項に分類した。作成経緯が不明瞭で、一連の論所・出入の一部として理解される境立絵図も含まれると考えられる。

「開発・高請・除地」 新田開発絵図は、新たに新田など開発しようとする原野・沼地などの場所の絵図として編成され、願所とともに奉行所に差し出された。また高請絵図、川欠荒地のほか荒所起返除地、除地もこの項に収録した。開発の中では、安永10年における湯田中の新田開発がまとまっている。検地絵図の項目もあわせて参照のこと。

「御用地」 給地・御用地・御用地改・御林・御栗林・献上山を収録した。本項の御用地改は屋敷改も含むため、最終項目の拝領屋敷と合わせて参照されたい。

「山林・河川」 割山・鉾山・用水堰・川敷のほか道橋を収録した。山林からの恩恵の多い近世社会では、川除等の普請のための材木を育成・伐採する御林のほか、入会山などの共有林では複数の村におい

ては取極があり、絵図に表現されることが多い。本項でまとめたものとしては、一連の赤芝銅銀山、御栗林などがあげられる。

「普請」 川除普請・川普請・道橋普請・建物普請・用水堰普請を収録した。千曲川・犀川の詳細な川除普請絵図のほか、東寺尾寺新堰御用地絵図がまとまっている。

「災害」 弘化および嘉永大地震の絵図、山抜および火災などの絵図のほか刷物の瓦版を含む。

「争論・出入・裁許」 論所（境界・入会・山論・水論）に際し作成された論所絵図、出入関係絵図、裁許裏書絵図がこの項に含まれる。本集では50に及ぶ真田家文書における村方の近世争論の絵図を含む。既刊の史料目録にも一部収録されているので参照いただきたい。本項に含むのは大きく分けて、紛争当事者双方が立会のうえ作成する絵図、当事者と役人立会のもと作成される論所見分絵図・論所内済絵図、裏書による裁許がおこなわれた裁許絵図に分類される。代表的な論所絵図、裁許絵図として、天保2年の東條村牧内村山論裁許絵図、安永4・5年両横田村・雨宮5カ郷地境論所絵図、同じく天保2年の二十一カ村入会札山牧内村論所改絵図、一連の矢代・塩崎・栗佐村分地境論所改絵なども見られる。関連文書とは切り離されているが、いずれも近世境界争論における争論絵図の役割の再検討を促す重要な史料である。

「国境・領内・道筋」 領内・国境・道筋見取図・街道・本陣・巡検・巡検宿泊所・名所絵図を収録した。国境絵図には論所絵図及び裁許絵図の写の一部も混在している。道筋絵図では、巡見に関連した道筋見取絵図である嘉永2年の御野掛御道筋のほか、巡見宿泊所、元禄10年の領内図が特筆される。

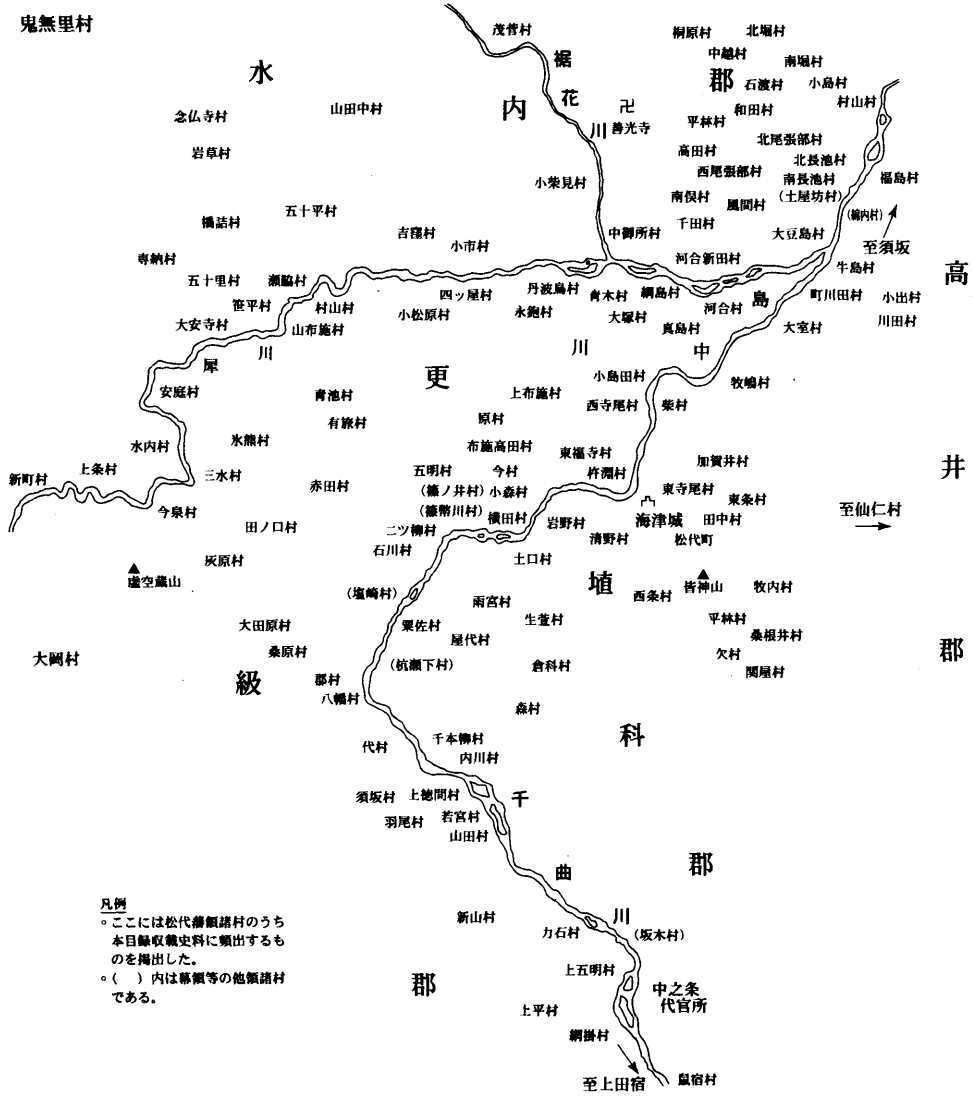
「規式・葬祭・日光社参」 規式・暦・見物・葬祭・日光社参を収録した。本項は葬祭も含め規式類がまとまっているほか、天保14年真田幸良が奏者番を務めた日光社参における道筋図・儀式図を網羅している。天保期日光社参の奏者番史料は、本館所蔵の真田家文書以外に伝存が少なく極めて貴重な史料であるが、規式類の図面がほぼ原形のまま残っているのは特筆に値する。この項の「し568」は凡例にも述べたように、仮整理段階で絵図から外され、当館の仮整理の容器「F」にあった史料である。原型ととどめているものとして、綴り形式のほか包紙に一括された史料は内容注記にその旨摘記した。また仮整理の際に当館で使用した仮紐についても参照のために摘記した。

「藩邸・御役所・拝領屋敷」 建札・御役所・番所・江戸藩邸・藩邸・御屋敷・屋敷地境改・城修覆指図・城郭・兵法・武器・拝領屋敷を収録した。享保年間の城修復について、御城惣屋根葺替請負金受取書と城修復指図が一括文書として伝存しているほか、松代御家中拝領屋敷、文化・文政年間より幕末・明治4年に到るまでの拝領屋敷坪改が綴り形式で一括伝存していることが特記される。

(付記)

本目録は、複合領域研究系前川佳遠理が担当し、2006年度に山本英貴（中央大学大学院）、2007年度に荒木仁朗（明治大学大学院）・種村威史（国学院大学大学院）・清水邦俊（千葉県立文書館）の諸氏がデータ作成の補助にあたった。また本目録作成にあたって、館員諸氏のご教示を得た。記して謝意を表すものである。

松代藩領図(部分図)



凡例
 ○ここには松代藩領諸村のうち
 本目録収載史料に類出するもの
 を掲出した。
 ○()内は幕領等の他領諸村
 である。

(出典) 史料館所蔵資料目録第四十三集 (信濃国真田家文書目録その四) より転載

真田家領分郷村高

水内郡87か村					五十平村	いかだいら	山中	261.11	
石綿村	いしわた	里	402.38		瀬脇村	せわき	山中	415.384	
北堀村	きたほり	里	354.24		大安寺村	だいあんじ	山中	201.614	大安寺領20
下稲積村	しものいなづみ	里	101.08		笹平村	さだだいら	山中	36.405	正源寺領12
上稲積村	かみいなづみ	里	228.1		五十里村	いかり	山中	179.031	
下徳間村	しもとくま	里	550.99		中条村	なかじょう	山中	643.39	
吉田村	よしだ	里	840.4		青木村	あおき	山中	473.24	
布野村	ふの	里	328.7		奈良井村	ならい	山中	344.68	
里和田村	さとわだ	里	976.		永井村	ながい	山中	352.49	
桐原村	きりばら	里	366.48		越道村	こえどう	山中	420.6	
上松村	うえまつ	里	954.98	昌禪寺領13	和左尾村	わさお	山中	197.12	
下山田村	しもやまだ	里	202.76		上条村	かみじょう	山中	174.699	源真寺領10.7
返目村	そりめ	里	194.4		山上条村	やまかみじょう	山中	298.052	
壇田村	まゆみだ	里	389.26			よう			
中越村	なかごえ	里	268.04		山穂刈村	やまほかり	山中	142.13	
下平林村	しもひらばやし	里	351.86		新町村	しんまち	山中	351.439	
千田村之内	せんだ	里	460.105	松平周防守領分263.551	風間村	かざま	里	405.926	
市村	いち	里	438.126		南俣村	みなみまた	里	316.591	
中御所村之内	なかのごしよ	里	557.59	堀慎太郎領分80.3	南高田村	みなみたかだ	里	969.018	
腰村	こし	里	283.15		北高田村	きたたかだ	里	964.85	
妻科村	つましな	里	631.68		西尾張部村	にしおわりべ	里	537.5	
下東条村	しもひがしじょう	里	840.11		南長池村	みなみなばいけ	里	486.96	
茂菅村	もすげ	山中	127.8		北長池村	きたながいけ	里	557.24	
小市村	こいち	里	312.05		北尾張部村	きたおわりべ	里	493.012	
小窪寺村	くぼでら	里	771.58		小嶋村	こじま	里	730.414	
小柴見村	こしばみ	里	105.42		中俣村	なかまた	里	587.069	
小新鐘村	あらかす	山中	88.37	飯鐘神領100	村山村	むらやま	里	608.12	
桜村	さくら	山中	420.33		南堀村	みなみほり	里	354.5	
泉平村	いずみだいら	山中	115.24		下越村	しもごえ	里	246.128	
上ヶ屋村	あげや	山中	562.2		押鐘村	おしかね	里	235.687	
下曾山村	しもそやま	山中	218.38		北郷村	きたごう	里	410.08	
上曾山村	かみそやま	山中	203.56		宇木村	うき	里	405.986	
広瀬村	ひろせ	山中	549.5		三輪村	みわ	里	1,123.581	
入山村	いりやま	山中	870.21		吉窪村	よしくぼ	山中	405.845	
小鍋村	こな	山中	826.7		山中田中村	さんちゅう	山中	391.255	
栃原村	とちはら	山中	947.7	戸隠神領2.43 大島寺領10.5		たなか			
鬼無里村	きなさ	山中	1,046.37		宮之尾村	みやのお	山中	422.618	
日影村	ひかげ	山中	555.19		黒沼村	くろぬま	山中	636.642	
椿嶺村	つばみね	山中	286.78	高山寺領15	水内村	みのち	山中	576.67	
瀬戸川村	せとがわ	山中	648.415	法蔵寺領12	久木村	ひさぎ	山中	111.908	
小根山村	おねやま	山中	563.11		上野村之村	うえの	山中	329.127	御料井上五郎 左衛門支配所 187.795
竹生村	たけぶ	山中	161.55	金剛寺歌迎堂領13 明松寺領12	小計			39,689.66	
伊折村	いおり	山中	454.97		更級郡67か村				
地京原村	じきょうばら	山中	602.122		五明村	ごみょう	里	545.7	
梅木村	うめき	山中	411.32		上平村	うわだいら	里	529.97	淨福寺領10
念仏寺村	ねんぶつじ	山中	468.376		新山村	あらやま	里	317.76	福徳寺領20
岩草村	いわくさ	山中	372.79		山田村	やまだ	里	591.35	長明寺領9.35
橋詰村	はしづめ	山中	515.675		山田新田村	やまだしんでん	里	40.556	
					若宮村	わかみや	里	310.83	
					力石村	ちからいし	里	585.83	
					網掛村	あみかけ	里	306.384	

須坂村	すざか	里	253.12		小田原村	こたはら	山中	24.015	
羽尾村	はねお	里	371.294		中牧村	なかまき	山中	539.487	興禪寺額1
本八幡村	ほんやはた	里	2,156.01	八幡宮額200 大英寺額52	南牧村	みなみまき	山中	319.482	長勝寺額12
向八幡村	むかいやはた	里	353.85		三水村	さみず	山中	191.392	
					小計			35,138.183	
桑原村	くわばら	里	764.583	龍洞院額15	高井郡17か村				
石川村	いしかわ	里	494.02	明徳寺額5	小布施村之内	おぶせ	里	127.18	御料真田伊豆 守預所758.424
二柳村	ふたつやなぎ	里	862.31		内相之嶋村之内	あいのしま	里	116.736	御料真田伊豆 守預所796.579
五明村	ごみょう	里	847.99		幸高村之内	こうたか	里	23.24	御料真田伊豆 守預所203.429
高田村	たかだ	里	816.7						
御幣川村	おんべいかわ	里	441.795		大室村	おおむろ	里	831.91	
					川田村	かわだ	里	2,023.41	
会村	あい	里	501.975		小出村	こいで	里	455.74	
原村	はら	里	849.46		小保科村	ほしな	里	1,365.04	長国寺額25.85
小松原村	こまつばら	里	907.18		福嶋村	ふくじま	里	867.63	
小波嶋村	たんばしま	里	570.37	明桂寺額12	八町村	はっちょう	里	611.38	
綱嶋村	つなしま	里	941.37		仁礼村	にれい	里	631.224	
青木嶋村	あおきじま	里	517.392		宇原村	うはら	里	36.	
大豆嶋村	まめじま	里	184.612		仙仁村	せに	里	96.31	
大豆嶋村	ましま	里	1,568.692		小河原村	おがわら	里	1,160.443	
真嶋村	ましまだ	里	1,496.815	大英寺額48 長国寺額39.1	大熊村之内	おおくま	里	449.42	堀慎太郎額分 341.183
真嶋村	ましまだ	里	1,496.815						
牧嶋村	まきしま	里	189.79		小沼村之内	おぬま	里	88.154	御料真田伊豆 守預所128.695
西寺尾村	にしてらお	里	853.81	長明寺額5.17					
杵淵村	きねぶち	里	495.805		佐野村	さの	里	759.003	
東福寺村	とうふくじ	里	1,404.62	西念寺額5	湯田中村	ゆだなか	里	427.86	
小森村	こもり	里	505.802		小計			10,061.38	
小横田村	よこた	里	354.9		埴科郡24か村				
藤牧村	ふじまき	里	282.91		金井村之内	かない	里	62.363	御料大原四郎 左衛門支配所 411.453
広田村	ひろだ	里	580.49						
上布施村	かみふせ	里	241.94		鼠宿村	ねずみじゆく	里	888.385	
下水嶋村	しもひがの	里	675.392		千本柳村	せんぼんやぎ	里	364.39	
牛嶋村	うしじま	里	685.265						
赤田村	あかだ	山中	325.39	尊照寺額12	内川村	うちかわ	里	237.63	
田之口村	たのくち	山中	496.94		粟佐村	あわさ	里	531.105	
平林村	ひらばやし	里	361.92		矢代村	やしろ	里	1,614.048	法華寺額12
水熊村	ひぐま	山中	178.51		雨之宮村	あめのみや	里	1,986.13	
高野村	たかの	山中	165.57		森科村	もり	里	1,259.48	
竹房村	たけぶさ	山中	318.76		倉生村	くらしな	里	821.08	
吉原村	よしはら	山中	158.96		土口村	いきがや	里	432.485	
須原村	すまき	山中	25.74		清野村	どぐち	里	277.76	
大原村	おおばら	山中	251.9		岩野村	きよの	里	992.28	
日名谷村	ひな	山中	296.982		西条村	いわの	里	639.21	大林寺額70 開善寺額50 清水寺観音堂 額10
鹿岡村	かや	山中	426.717			にしじょう	里	1,274.42	
大岡村	おおおか	山中	1,913.414	天宗寺額10.5	関谷村	せきや	里	319.3	明徳寺額15
下市場村	しもいちば	山中	151.371		平林村	ひらばやし	里	267.635	
牧田中村	まきだなか	山中	289.22	興禪寺額14	桑根井村	くわねい	里	127.995	
牧之嶋村	まきのしま	山中	188.34		牧内村	まきうち	里	139.735	
安庭村	やすにわ	山中	193.247	真龍寺額12	東条村	ひがしじょう	里	1,070.23	西念寺額10 續光寺額20
安庭村	やすにわ	山中	193.247						
吐頃村	とうとう	山中	6.55		加賀井村	かがい	里	142.96	
和田村	わだ	山中	30.116		田中村	たなか	里	463.35	淨福寺額10 福徳寺額20 長明寺額9.35
四屋村	よつや	里	745.143		東寺尾村	ひがしてらお	里	648.78	
大塚村	おおつか	里	986.572	長国寺額35.05	柴屋町村	しば	里	198.55	
河合村	かわい	里	1,047.03		紙屋町村	かみやまち	里	171.14	
川合新村	かわいしん	里	177.139		小計			14,930.477	
					合計	195か村		100,000.000	
山布施村	やまぶせ	山中	530.38						
有旅村	うたび	山中	291.881						
灰原村	はいばら	山中	53.383						

(出典)「信濃国之内河中嶋松代領高辻帳」天保9年〔あ3428〕,「信濃国水内郡更級郡埴科郡高井郡之内郷村高帳」天保3年〔あ3429〕,「信濃国郡村仮名附帳」享和3年〔あ3400〕,「高帳」天保5年〔う1077〕,史料館所蔵資料目録第四十三集(信濃国真田家文書日録その四)より転載。

(註)他領・寺社朱印地高は外、註記のない村は全村高

真田家預所表

(単位=石)

高井郡12か村	5,369.039	水内郡4か村	2,088.614	坂口村	53.541
幸高村	202.291	栗田村	807.557	高坂村	289.7805
同村明和5・安永9年高入新田	1.138	権堂村	670.183	夏川村	193.087
中嶋村	441.588	津野村古料	455.237	北川村	89.406
同村安永4年高入新田	2.307	中尾村	155.637	横手村	92.971
村山村	381.589			野村上村	440.485
同村明和13年高入新田	5.382	水内郡40か村	15,276.6158	茶磨山村	32.057
相之嶋村	7564.401	(上記4か村を含む)		袖之山村	208.745
同村明和3年高入新田	25.518	荒木村	130.2	高山村	46.852
同村文政5年高入新田	6.66	千田村	263.551	板橋村	159.8033
大嶋村	903.517	富竹村	908.201	稲附村	295.94
飯田村	464.248	金箱村	334.337	石橋村	232.791
同村明和3年高入新田	.528	上駒沢村	537.375	新井村	331.857
山王嶋村	480.92	下駒沢村	420.1	中宿村	247.417
同村寛政10年高入新田	12.207	三才村	332.059	裏	66.606
福原村	104.529	上組	494.445	黒川村東組	557.341
小布施村	583.052	栗田村	420.889	黒川村西組	467.919
同村寛政5・7年高入新田	25.001	六地藏町	547.001	牟礼村	1,367.938
同村文政元年高入新田	150.371	内町	255.645	山神代村	113.3
同村天保13年高入新田	7.151	津野村新料	452.223	赤沼村	1,141.631
中条村	181.249	上野村	187.795	河原新田	559.042
桜沢村	259.043	同村安政6年高入新田	.36		
同村古新田子高入新田	237.654	西条村	757.907	計	7,457.653
小沼村	128.695	何去真光寺村	156.074	{ 16か村	
				{ 52か村	20,645.6548

(史料)「信濃国高井郡水内郡村々里附帳」明治3年〔え605〕、「嘉永二酉割附」〔え593〕ほか。
史料館所蔵資料目録第四十三集(信濃国真田家文書目録その四)より転載。

(註) 幕末までは16か村、明治元年52か村に増加。

[主要参考文献] (50音順)

- 大国正美「近世境界争論における絵図と絵師—地域社会の慣行秩序の展開にみる権力と民衆」『日本社会の史的構造 近世・近代』（思文閣出版、1995年）
- 笠谷和比古『近世武家文書の研究』（法政大学出版局、1998年）
- 木村東一郎『江戸時代の地図に関する研究』（隣人社、1967年）
- 黒田日出男、M.E.ベリ、杉本史子編『地図と絵図の政治文化史』（東京大学出版会、2001年）
- 杉本史子『領域支配の展開と近世』（山川出版社、1999年）
- 種村威史「天保期日光社参における宿城儀礼と奏者番」（『国史學』190号、2006年）
- 三好唯義「江戸時代の日本地図にみえる記号」『実学史研究VIII』（実学資料研究会編、思文閣出版、1992年）
- 渡辺尚志編『藩地域の構造と変容—信濃国松代藩地域の研究—』（岩田書院、2005年）
- 『長野県史 通史編 近世』（長野県史刊行会、1989年～1992年）
- 『更級埴科地方誌第三巻 近世編上下』（更級埴科地方誌刊行会、1980、1981年）